

市民セミナー

「あなたの大切な人と 最期の時を どのように過ごしたいですか？」

映画「終わりよければ」上映と パネルディスカッション

予約不要、入場無料

この市民講座は公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています

日時：平成 24 年 5 月 20 日（日曜） 午後 1 時～4 時（12 時 30 分開場）

場所：九州大学医学部百年記念講堂 大ホール

第一部 映画「終わりよければ」（129 分）上映

第二部 パネルディスカッション

テーマ「今 福岡 東地域でできること」

パネラー：在宅での看取りを実際に経験されたご家族

在宅での看取りをサポートする医師、看護師、介護施設担当者

【趣旨】

日本の超高齢化により、いわゆる「老後」と言われる時間が長くなっています。「終わりよければ全てよし」ではありませんが、自分の最期が近付いた時、あなたは誰とどのようにどこで過ごしたいと考えていますか？

終末期医療の高度化に伴い、多くの延命処置が実施できるようになり、さらに長生きが可能になりました。一方で、すでに様々な人生の実績を残してこられた方たちが、病院の白い壁の中で、様々な機械や管につながれて最期を迎えるのはいかながなものでしょうか？

避けて通れない最期の時間の過ごし方について、認知症や身体的な衰えなどが避けられなくなってアタフタするより、元気な今だからこそ少し考えてみませんか？

私たち福岡東在宅ネットワークでは、これまで医療・介護などの専門職が集まり、この場所で最期を迎える人たちのお世話をいかに進めて行くべきか相談し合ってきました。出来るだけご本人の希望を叶えたいと思うのですが、一番のネックはお世話をする方に認知症などがありご本人の希望がわからないことでした。

そこで、一般市民の方に広くご自分や自分の大切なご家族の最期の時の過ごし方について考えていただくきっかけと現状を知るきっかけとして映画の上映と、実際に福岡市内で自分の望みをかなえた方やそれを支える仕組みについて当事者がパネルディスカッションを行います。

皆様の「終わりを良くする」ために、どうぞお気軽にご参加ください。